

世間にて、女子わらはへの好み候占は、只行先の吉凶仕合不仕合を知り可申爲にて、たとひ明日死候事を今日慥に存知候共、何の益も無之事に候、古之卜筮は、左にては無御座候、たとへば岐路御座候半に、左へ行て吉候半哉、右へ行て能候半哉と申事、道理見え不申、了簡つき不申候時に、卜筮を以て鬼神に問ひ候事に候、是により何事もなき時に先達而、今年の吉凶を知ると申様なる事は、曾て無之事に候、是を稽疑と申候、

〔先哲叢談後編七〕片岡如圭

有一儒生、以易爲義理書、深賤如圭、以易爲占筮書、指爲追秦皇之言者、問曰、天生神物、謂著與龜、今龜卜失其傳、著草不生、既久矣、後世何由筮爲也哉、如圭對曰、昔者季札以樂卜、趙孟以詩卜、襄仲歸父以言卜、子遊子貢以威儀卜、沈尹氏以致卜、孔成子以禮卜、其應如響、若夫夷狄、則有虎卜、馬卜、紫姑卜、牛蹄卜、鷄骨卜等、亦能決大事、有占驗、蓋精誠既極、鬼神從而感應、古不謂乎、至誠之道、可以前知、何必著龜哉、儒生無言而止、

〔玉勝間十四〕卜筮

もろこしの國とても、いと上代には、後世のごこく萬の事、己がおしはかりの理を以て定むる事は、さしもあらざりしこと、卜筮といふ物あるをもて、えるべし、卜筮は己が心にさだめがたき事を、神にこひてその教をうけて定むるわざなり、卜筮にいつるは神のをしへなり、然るを後世のごとく、己が心をもて、物の理をはかりてさだむることは、大かた周公旦といふさかしら人より、盛にその風になれるなり、

〔訓蒙圖彙四〕卜（中略）卜人

〔書言字考節用集四倫〕日者ウラフキ今云ウラフキ占筮、指南、卜

同 卜人文選註、日者掌日月曆數之任、

〔史記百二十七〕日者列傳第六十七